学校番号	２１２

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年	３年
類型等	文型（共通）・文理型（選択）						
使用教科書	「高等学校　改訂版　古典Ａ　大鏡 源氏物語 諸家の文章」（第一学習社）						
副教材等	過程の演習　新国語問題集アシスト〔第 22 集〕古文編（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では『源氏物語』と『大鏡』など二、三作品に絞って、同じ作品を長期継続的に読解していきます。
・それぞれの作品の特色と古典的な常識を学んでいきます。
・合わせて実践的な問題演習も行っていきます。
・古文の読解に必要な文法と古語については、一、二年生で身につけた基礎的な内容から、大学入試に対応できるまで、幅広く身に付けて行くことが大切です。
・予習として必ず本文の現代語訳をしておきましょう。
・自分の学習状況に合わせて、品詞分解、語句調べも予習の段階でしておいてください。

2　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度をもつことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとする。	まとまりのある古典を読み、古典に現れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（学習活動における発言内容や取り組みの様子。） ・記述の確認、分析（ノート、プリント、学習課題）	・行動の観察（学習活動における発言内容や取り組みの様子。） ・記述の確認、分析（ノート、プリント、学習課題、定期考査）	・記述の確認、分析（ノート、プリント、学習課題、定期考査）
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1	大和物語	旅寝の夢 言はで思ふ	○	○	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を的確に読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代文語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
1	大鏡	時平と道真 村上天皇と中宮安子	○	○	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を的確に読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代文語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
2	源氏物語	明石の君との出会ひ 明石の君の苦悩	○	○	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を的確に読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代文語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
2	評論	古今和歌集仮名序 俊頼髄脳 毎月小	○	○	○	a:課題に取り組んでいる d:作者の主張・心情を読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
3	評論	三冊子 源氏物語玉の小櫛	○	○	○	a:課題に取り組んでいる d:作者の主張・心情を読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解